



2025年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社システムリサーチ
代表者名 代表取締役社長 平山 宏
(コード番号：3771 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 取締役管理本部長 太田吉信
電話番号 052-413-6820 (代表)

(訂正・数値データ訂正)
「2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2025年10月28日に公表いたしました「2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせします。
訂正箇所は__線で示しております。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正理由

2025年10月28日に公表いたしました、2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信において、中間連結キャッシュ・フロー計算書および関連する箇所の記載に誤りがありましたため、当該事項につきまして訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正の箇所は下線を付しております。

(2) 財務状態に関する説明

②キャッシュ・フローの状況の分析

【訂正前】

(中略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、380百万円(前年同期は287百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,530百万円などの増加要因が、法人税等の支払額509百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

(中略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、1,082百万円(前年同期は764百万円の減少)となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入420百万円、長・短期借入金の返済による支出544百万円や配当金の支払額993百万円などによるものであります。

【訂正後】

(中略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、415百万円（前年同期は287百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,530百万円などの増加要因が、法人税等の支払額509百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

(中略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、1,118百万円（前年同期は764百万円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入420百万円、長・短期借入金返済による支出544百万円や配当金の支払額993百万円などによるものであります。

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他	△282,253	△371,419
小計	659,116	894,271
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,676	380,093
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	二	35,901
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,763	△1,082,587

【訂正後】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他	△282,253	△335,518
小計	659,116	930,172
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,676	415,994
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,763	△1,118,488

以 上



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月28日

上場会社名 株式会社システムリサーチ

上場取引所

東・名

コード番号 3771

URL <https://www.sr-net.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 平山 宏

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長

（氏名） 太田 吉信

（TEL）052-413-6820

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

：有

決算説明会開催の有無

：有

（投資家およびアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	14,194	12.3	1,519	24.3	1,531	23.6	1,121	24.5
2025年3月期中間期	12,635	11.7	1,221	2.9	1,238	2.4	900	0.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,124百万円（24.6％） 2025年3月期中間期 901百万円（0.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	67.68	—
2025年3月期中間期	54.21	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	17,017	11,995	70.3
2025年3月期	17,526	11,829	67.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 11,973百万円 2025年3月期 11,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	29,314	13.0	3,445	14.9	3,504	14.3	2,535	15.5	153.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	16,720,000株	2025年3月期	16,720,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	135,047株	2025年3月期	154,262株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	16,571,223株	2025年3月期中間期	16,608,633株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2025年11月20日（木）に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、当日中に当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	
① 生産実績	10
② 外注実績	10
③ 仕入実績	10
④ 受注実績	11
⑤ 販売実績	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加により、緩やかに回復基調で推移しました。一方で米国の通商政策や、原材料価格・エネルギー価格等の高騰などの影響で、依然として経済の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、日銀が発表した2025年9月の短観（企業短期経済観測調査）によると、2025年9月のソフトウェア投資計画は前年同期比12.9%増となり、DX（デジタルトランスフォーメーション）技術を活用した人手不足への対応や、基幹システムの刷新など、企業のIT投資需要は引き続き旺盛であることを示しています。

こうした経営環境の中、当中間連結会計期間においては、当社の主要顧客である自動車関連事業を始めとした製造業からのIT投資需要が堅調に推移し、SIサービス業務の売上高は5,346百万円（前年同期比5.4%増）となりました。また、ソフトウェア開発業務の売上高は、既存顧客からの継続受注を安定的に確保できたことにより、8,104百万円（前年同期比16.8%増）となりました。パッケージソフト販売等のソフトウェアプロダクト業務におきましては、中小企業向けパッケージソフトの売上が伸び悩んだことにより、売上高は189百万円（前年同期比11.8%減）となり、商品販売ではパソコン・情報機器、ソフトウェア等の商品仕入れ販売の売上高405百万円（前年同期比83.4%増）、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス（SaaS）等での売上高は、148百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

利益面におきましては、顧客企業のIT投資は堅調に推移しており、技術者の稼働率も高い水準を維持しております。また、案件の選別や、PRM（プロジェクト・リスク・マネジメント）活動によるプロジェクトリスク管理の徹底により粗利率が改善したことに加え、広告宣伝費の計画未消化などの要因により販売管理費が抑制されたことで利益額が増加しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、売上高14,194百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益1,519百万円（前年同期比24.3%増）、経常利益1,531百万円（前年同期比23.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益1,121百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況の分析

当中間連結会計期間末の総資産は、建物及び構築物（純額）が増加したものの、現金及び預金、および有形固定資産その他（純額）が減少したことなどにより、17,017百万円（前期末比509百万円減）となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、賞与引当金、および流動負債その他が減少したことなどにより、5,022百万円（前期末比675百万円減）となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当を行ったものの、利益剰余金が増加したことなどにより、11,995百万円（前期末比166百万円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,183百万円減少し、7,020百万円（前年同期末は7,599百万円）となりました。

また、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、380百万円（前年同期は287百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,530百万円などの増加要因が、法人税等の支払額509百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、480百万円（前年同期は244百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出424百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1,082百万円（前年同期は764百万円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入420百万円、長・短期借入金の返済による支出544百万円や配当金の支払額993百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期中間連結会計期間および通期の業績予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,203,626	7,020,317
売掛金及び契約資産	5,297,093	5,457,211
商品	2,094	61,954
貯蔵品	6,599	6,606
その他	98,319	158,970
流動資産合計	13,607,732	12,705,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	773,258	1,979,095
土地	1,095,230	1,095,230
その他(純額)	954,330	160,069
有形固定資産合計	2,822,819	3,234,394
無形固定資産		
のれん	114,685	81,918
ソフトウェア	191,068	199,748
その他	7,688	9,656
無形固定資産合計	313,441	291,322
投資その他の資産		
その他	782,383	786,595
投資その他の資産合計	782,383	786,595
固定資産合計	3,918,644	4,312,312
資産合計	17,526,376	17,017,371

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,063,703	1,148,434
短期借入金	—	88,000
1年内返済予定の長期借入金	730,534	647,240
未払法人税等	591,302	476,891
賞与引当金	1,342,932	1,069,690
その他	1,402,172	1,154,545
流動負債合計	5,130,645	4,584,801
固定負債		
長期借入金	566,664	437,481
固定負債合計	566,664	437,481
負債合計	5,697,309	5,022,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	525,556
利益剰余金	10,960,530	11,088,166
自己株式	△223,780	△195,953
株主資本合計	11,804,450	11,967,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,043	5,882
その他の包括利益累計額合計	6,043	5,882
非支配株主持分	18,574	21,286
純資産合計	11,829,067	11,995,088
負債純資産合計	17,526,376	17,017,371

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,635,691	14,194,435
売上原価	9,892,851	11,007,287
売上総利益	2,742,840	3,187,148
販売費及び一般管理費	1,521,039	1,667,520
営業利益	1,221,800	1,519,627
営業外収益		
受取利息	120	1,504
助成金収入	21,085	14,720
その他	576	983
営業外収益合計	21,782	17,208
営業外費用		
支払利息	4,968	5,761
営業外費用合計	4,968	5,761
経常利益	1,238,614	1,531,073
特別損失		
固定資産除却損	413	269
特別損失合計	413	269
税金等調整前中間純利益	1,238,201	1,530,803
法人税等	335,352	406,511
中間純利益	902,848	1,124,292
非支配株主に帰属する中間純利益	2,337	2,712
親会社株主に帰属する中間純利益	900,511	1,121,579

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	902,848	1,124,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,310	△160
その他の包括利益合計	△1,310	△160
中間包括利益	901,538	1,124,131
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	899,201	1,121,419
非支配株主に係る中間包括利益	2,337	2,712

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,238,201	1,530,803
減価償却費	69,059	85,640
のれん償却額	32,767	32,767
賞与引当金の増減額(△は減少)	△292,340	△273,242
売上債権の増減額(△は増加)	△149,356	△140,320
棚卸資産の増減額(△は増加)	△787	△59,866
仕入債務の増減額(△は減少)	43,827	89,909
その他	△282,253	△371,419
小計	659,116	894,271
法人税等の支払額	△366,404	△509,834
その他	△5,035	△4,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,676	380,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△188,925	△424,328
無形固定資産の取得による支出	△60,659	△56,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244,585	△480,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	440,000	220,000
短期借入金の返済による支出	△264,000	△132,000
長期借入れによる収入	400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△449,982	△412,477
自己株式の取得による支出	△222,150	△67
自己株式の売却による収入	—	35,901
配当金の支払額	△668,631	△993,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,763	△1,082,587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△721,671	△1,183,308
現金及び現金同等物の期首残高	8,321,378	8,203,626
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,599,707	7,020,317

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当中間連結会計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	生産高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	5,346	105.4
ソフトウェア開発業務	8,104	116.8
ソフトウェアプロダクト業務	189	88.1
その他	148	78.1
合計	13,788	111.0

(注) 金額は、販売価格によっております。

② 外注実績

当中間連結会計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	外注高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,200	100.4
ソフトウェア開発業務	3,313	117.6
ソフトウェアプロダクト業務	45	87.5
合計	5,560	109.9

③ 仕入実績

当中間連結会計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
商品販売	383	204.3

(注) 金額は、仕入価格によっております。

④ 受注実績

当中間連結会計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
S I サービス業務	7,297	125.0	3,753	122.0
ソフトウェア開発業務	9,946	136.1	3,516	124.7
ソフトウェアプロダクト業務	171	86.0	105	95.8
商品販売	396	194.0	94	384.4
合計	17,811	131.4	7,470	123.9

⑤ 販売実績

当中間連結会計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	販売高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	5,346	105.4
ソフトウェア開発業務	8,104	116.8
ソフトウェアプロダクト業務	189	88.2
商品販売	405	183.4
その他	148	78.2
合計	14,194	112.3

(注) 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
(株)トヨタシステムズ	2,215	17.5	2,482	17.4